

### ミノがあったら隠りたい？

新型コロナウイルスの影響で、家にこもっている人も多いのではないのでしょうか。今回は、昆虫界の引きこもり？ミノムシを特集します。

ミノムシは、チョウ目、ミノガ科に属するガの幼虫のことです。幼虫が作る巣が、人間が作る蓑（藁で作られた昔の雨ガッパ）に似ているため、ミノムシと呼ばれるようになったようです。ちなみに、英語では、bagworm（直訳：かばん虫）と言うそうです。

“ミノムシ”というのは総称で、オオミノガ、チャミノガなど、いくつかの種類があります。

### オオミノガの不思議な生態

オオミノガは、日本で最も大きい蓑を作るミノムシです。驚くべきことに、オオミノガのメスは、成虫になってもガの姿にはなりません。

オオミノガの幼虫は、オスメスとも、蓑の中で蛹化し、オスは羽化してガの姿となります

（ただし、口器は退化していて摂食機能はありません）。一方メス成虫は、頭部と胸部が極端に退化し、触角、複眼、口器、翅、脚が消失して蛆虫のような姿になります。成虫への脱皮も、蛹殻（ようかく）の頭部側に穴をあけるだけです。

蛹殻に穴をあけたメス成虫は、蓑から顔を出し、性フェロモンを出してオスを誘引します。オス成虫は触角でそれを感知し、メスのいる蓑にやってきます。

交尾の際も、メスは蓑の中に入ったままで、オスが蓑の入り口に腹部を差し込み、空気でお腹を2倍以上伸ばして行きます。交尾後メスは蓑（の中の蛹殻）の中に3000～4500個の卵を産みます。



サクラの樹皮にくっついてたミノムシ  
（おそらくチャミノガと思われる）

※下の白いものはイラガの繭

体のほとんどの部分が卵で占められていたメス成虫は、産卵後は小さくしぼんだ状態となります。最後にメスは、腹部にあるピロードのような粉状の毛を卵塊の表面に擦り付けて、厚い毛の保護栓をつくり、卵を守ります。メスは産卵後も蓑の中に残り、卵が詰まった蛹殻の穴のところに留まっていますが、幼虫が孵化する頃には一生を終えます。

このように、オオミノガの成虫はただ次世代を生み出すことにのみ特化し、身体機能的には一見退化しているように思えますが、これは目的を持った退化であり、退化という進化を遂げているということで、大変興味深いです。

コロナウイルスにより、人間社会において大きな変革が求められている今、目的のためにあえて退化という進化を遂げた潔い？昆虫の姿に、私達もなにか学ぶところがあるかもしれません。

## 製品紹介

### アセルプリン

### 新しい殺虫効果 低薬量で高い残効性



- 低薬量・低濃度で高い殺虫効果があり、さらに残効性も高いため予防的に散布可能です。
- 従来の殺虫剤の多くは害虫の神経系に効くものでしたが、アセルプリンは筋肉に作用するという新しい作用機作（ジアミド系）なので、従来の薬剤で効果が劣るようになった害虫にも効果が期待できます。
- ミツバチや天敵昆虫などの有用生物に対する安全性も確認されています。
- 蚕に対しては影響があるので飛散に注意してください。
- 散布液調整後はできるだけ速やかに散布してください。



- 有効成分：クロラントラニプロロール 18.4%
- 毒性：普通物
- 包装：100ml/本、6本入り/ケース

作物名	適用害虫名	使用時期	薬量/10a (希釈倍率)	希釈水量/10a
芝	スジキリヨトウ	発生前～発生初期	20ml	200L
	シバツトガ・タマナヤガ		30ml	50～300L
	コガネムシ類幼虫		50ml	500L
樹木類	ケムシ類		100ml	200～1000L
			10000～20000倍	200～700L

### スティンガーフロアブル

### 速効性と優れた効果持続性



- チョウ目害虫に優れた効果を発揮する新しいタイプの殺虫剤であり、効果持続性に優れています。
- 速やかに摂食行動を阻害し、高い食害抑制効果を示します。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、桑葉に絶対かからないよう散布してください。
- 目に対して刺激性があるため、薬剤が目に入らないよう注意してください。  
(目に入った場合は直ちに水洗いしてください)



- 有効成分：フルベンジアミド 42.0%
- 毒性：普通物
- 包装：100ml/本、8本入り/ケース

作物名	適用害虫名	使用時期	薬量/10a (希釈倍率)	希釈水量/10a
芝	スジキリヨトウ	発生初期	35ml	50～200L
	シバツトガ・タマナヤガ		50ml	50～500L
樹木類	ケムシ類		8000倍	-

### ダイリーグ粒剤

### ゲンバウムシ・アブラムシに



- 株元に散布するだけなので、処理が簡単です。
- アブラムシ類、ゲンバウムシ類に高い効果があり、長期間効果が持続します。
- ミツバチに影響が少ない薬剤です。
- 臭いが少なく、扱いやすい剤です。
- 蚕に対しては影響があるので飛散に注意してください。
- 花き類・観葉植物に使用する場合、幼苗期の使用では薬害を生じる恐れがあるため使用しないでください。



- 有効成分：アセタミプリド 1.0%
- 毒性：普通物
- 包装：1.5kg/袋、12袋入り/ケース

作物名	適用害虫名	薬量/10a	使用時期	使用方法
つつじ類	ゲンバウムシ類	6～12kg	発生初期	株元散布
	アブラムシ類	12～30kg		
しきみ	ゲンバウムシ類	12kg		
	アブラムシ類	12～30kg		
クロトン・かえで	カイガラムシ類	30kg		
	アブラムシ類	12～30kg		
樹木類	アブラムシ類	12～30kg		
花き類・観葉植物		1g/株		

取扱い・お問合せは—